

Title	中小ワーキングウェアメーカーの戦略計画
Sub Title	
Author	田代景紀(Tashiro, Keiki) 伏見多美雄
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1982
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001982-0212

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 田代景紀

主査 伏見多美雄

副査 柳原一夫

所属ゼミナール 柳原一夫 研

滝沢 茂

中小ワーキングウェアメーカーの戦略計画

本研究は中小ワーキングウェアメーカーである日新被服株式会社の経営環境を分析し、環境に適合した基本戦略を計画することを最終の目的とする事例研究である。

企業が合理的戦略行動を取るためには3つの困難がある。

- 一、 企業を取りまく経営環境の実態がつかめない。
- 二、 環境は把握できても環境に適合した戦略を計画できない。
- 三、 分析的で創造的な戦略が計画できてもそれを実行することができない。

日新被服は現在上記一の困難に直面している。昭和48年のオイルショック以後ワーキングウェアメーカーを取りまく環境は大きく変化し、今後この傾向はますます強くなると思われる。需要は数量ベースで完全に横ばいであり、大手と中小の競争が激化し一部の製品に関しては完全に大手に集中しはじめている。

こうした中小メーカーにとってきびしい環境の中でその変化を適確に予測し、日新被服が今後とも生きのこれるような基本方針を決定することが本研究の目的である。